

令和5年度  
岐阜工業高等専門学校  
参与会報告書

令和5年9月

岐阜工業高等専門学校 参与会

## 岐阜工業高等専門学校 参与委嘱者名簿

(五十音順、敬称略)

植松 美彦	欠席	岐阜大学工学部長
牛込 進		株式会社 T Y K 代表取締役会長 (一般社団法人 岐阜県工業会 相談役)
大橋 洋一郎		中日新聞岐阜支社 報道部長
角田 範義		豊橋技術科学大学 理事・副学長
郷 泰彦		岐阜県商工労働部次長
田口 雅夫		岐阜県中学校長会会長 (可児市立中部中学校長)
所 哲郎		岐阜高専若鮎会会長
西崎 友美子		岐阜工業高等専門学校教育後援会 会長
藤原 勉	欠席	本巣市長 代理出席 本巣市教育長 川治 秀輝

## 参与会出席者名簿

### 岐阜工業高等専門学校関係者

伊津野 真一		校長
北川 秀夫		副校長（教務主事）
柴田 良一		副校長（研究主事）
角野 晴彦		副校長（学生主事）
中島 泰貴		副校長（寮務主事）
羽瀨 仁恵		点検評価・フォローアップ委員長
片峯 英次		専攻科長
久保田 圭司		一般科目（人文）学科長
山本 浩貴		一般科目（自然）学科長
石丸 和博		機械工学科長
富田 睦雄		電気情報工学科長
福永 哲也	欠席	電子制御工学科長
水野 和憲		環境都市工学科長
青木 哲		建築学科長
山田 実		テクノセンター長
吉村 優治		図書館長
安田 真		情報処理センター長
野々村 咲子		学生相談室長
田島 孝治	欠席	国際交流室長
羽室 秀樹		事務部長
須藤 淳一		総務課長
松浦 克行		学生課長

参与による点検・評価票

点検・評価実施年月 2023年9月

点検・評価対象期間 令和4年(2022)年度～令和5年(2023)年度

取りまとめは岐阜高専の事務局で致します。集計時にお名前は伏せた形と致します。

なお、参与の皆様のご了解の下で編纂されました最終の報告書は、参与会のお名前 Web 公開予定です。

評価ランク	
評価5	非常に優れている。評価4：良好である。評価3：おおむね良好である。
評価2	やや不十分である。評価1：不十分である。

A	施設及び設備に関する現状と計画
	<p>【5段階評価】 評価5 1 評価4 7 評価3 評価2 評価1 平均 4.13</p> <p>【自由記載欄】</p> <p>【A】国際寮の新築や女子寮の改修など、多様な学生をうけいれるための施設を計画に整備している。学生の企画・立案による「言ノ葉テラス」は独自の存在感がある。女性の受け入れには引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>【B】本校独自に獲得した予算での改善(計画)もあると良い。</p> <p>【C】施設設備や設備整備に関する中長期計画を策定し、高専の機能強化に向けて計画的な施設整備や修繕、設備導入に取り組んでいる。</p> <p>【D】なし</p> <p>【E】なし</p> <p>【F】図書館南側の「言ノ葉テラス」は、名称やデザインも学生たちによるミーティングによって考えられたとのこと。これから先も、学生や教職員がくつろげるスペースとして後世に残る場所が作られたのは素敵だと思いました。今後、予定されている、各施設の改修工事も実施され、教職員、学生の過ごす環境がよりよくなることを期待します。</p> <p>【G】寮の充実は大きい。高校生のグローバル化、社会性を高めるために積極的に進めて欲しい</p> <p>【H】施設・設備の環境の設備については、予算を工面しながら精一杯の対応をしていると感じた。また設備整備に「願い」を感じ学校の本気度がうかがえる。安全面から、岐阜高専らしい「防災教育」がもっと展開できるとよいと感じた。「施設と防災」「防災学び」「防災訓練の工夫」など具体的な取組に期待したい。</p>
B	情報セキュリティに関する対策
	<p>【5段階評価】 評価5 評価4 5 評価3 3 評価2 評価1 平均 3.63</p> <p>【自由記載欄】</p> <p>【A】インシデント対応訓練の実施結果が大きく向上しており、教職員の意識の高まりが感じられる。</p> <p>【B】訓練の複数回の実施は効果がある。フォローアップもあるようで良いと思います。</p> <p>【C】なし</p> <p>【D】なし</p> <p>【E】なし</p> <p>【F】教職員、学生一人一人が、情報セキュリティ教育・インシデント対応訓練を定期的実施し、不足の事態へ備えているところを評価します。今後「開封者警告率」が更に上がることを期待します。</p> <p>【G】今後リテラシー CSIRT との連携、訓練(ウイルスメール)が重要。リモート等に特化するのではなく、連絡内等に応じた通信のセキュリティを設定し、教員—保護者、教員—学生、教員—教員、教員—その他に適用していく必要がある。</p> <p>【H】なし</p>
C	内部統制に関する現状
	<p>【5段階評価】 評価5 1 評価4 6 評価3 1 評価2 評価1 平均 4.0</p> <p>【自由記載欄】</p> <p>【A】校長のリーダーシップを前面に出した意思決定のしくみは機能的だと思う。会議は各階層でその役割を明確にし、同じことの繰り返しをなくす工夫をいっそう強くやって</p>

	<p>ほしい。</p> <p>【B】 教員間・教職員間の日頃からの連携が自由に行われる学校であると良い。</p> <p>【C】 校長の強いリーダーシップの下で学内の意思決定プロセスを見直す一方、教職員や学生の意見やアイデアを学校運営に取り入れている。</p> <p>【D】 特に、校長のリーダーシップのもと、迅速かつ責任ある意思決定についてのプロセスの見直しは、参考になる取組であると感じた。</p> <p>【E】 なし</p> <p>【F】 各学科の特徴に応じた具体的な年度計画の策案を、校長先生のリーダーシップと、PDCA サイクルにより、しっかりと実行されていることが分かりました。</p> <p>【G】 トップとしての校長のリーダーシップ →組織の動きを活性化させている。 →各教職員への運営参加者としての意識付けが行われている。</p> <p>【H】 校長のリーダーシップを強く感じた。危機管理を含め、迅速かつ責任ある意思決定が命。今までの体制を振り返り意思決定プロセスを見直したことで、大変評価できる。学校の一体感もさらに大きくなったと思われる。</p>
D	<p>地域連携の取り組み</p> <p>【5段階評価】 評価5 2 評価4 6 評価3 評価2 評価1 平均 4.25</p> <p>【自由記載欄】</p> <p>【A】 出前授業をはじめ 地域の学校や住民との交流は積極的に行われている。</p> <p>【B】 新しい取り組みも見られ、良いと思います。</p> <p>【C】 企業の抱える課題を解決するワークショップや社会問題の解決を目指すプログラムなど、地域連携活動に積極的取り組んでいる。現在、教員が個別対応している卒業生のUターン支援について、今後は組織として希望者を把握し、県などと連携して県内企業とのマッチングを図っていただきたい。</p> <p>【D】 地域で学生が活躍できる場の創出は、学生にとっても地域にのり（特に子供たち）にとってもメリットのある取組であると感じた。</p> <p>【E】 研究協力をはじめとして地域連携に協力に取り組んでいる。</p> <p>【F】 なし</p> <p>【G】 地域からの期待が大きいので、それに全て応えようとする、高専の本来の姿からは外れてしまうことがあるので、バランスを重視した連携が必要となる。現在は、校長のリーダーシップにより、バランスが保たれている。</p> <p>【H】 科学リテラシー教育実習生等は学生たちにとって大きな力となるとともに市民・地域にとっても有意義な体験活動・生涯学習の場となる。ぜひ今後も続けていただきたい。本県市においては、数楽校やSTEAM 講座が生まれることを望んでいる。</p>
	<p>【その他、ご意見・感想など、ご自由に記載ください】</p> <p>【A】 岐阜はもちろん、日本のものづくりの中心である愛知の企業と相互に交流する機会を増やしてはどうか。インターンシップなども、より深い関係が築ける内容を探り、岐阜高専モデルと言えるような形を考えていただきたい。</p> <p>【B】 全体として可視化が校内・校外含めさらに望まれます。情報処理センターの Mathcad ライセンスの更なる活用が望まれます。LMS 含めたコンテンツ群は全国1位ではと思います。</p> <p>【C】 なし</p> <p>【D】 なし</p> <p>【E】 各課題に対して意欲的に取り組んでいる。企業との接触をさらに進めてもらいたい。寮の更なる充実を図ってもらいたい。</p> <p>【F】 なし</p> <p>【G】 Uターン学生（卒業生）の希望に応える形で、地元企業との繋がりを作る必要もある。WEBの利用</p> <p>【H】 本県校とコラボした 数楽校、算数数学甲子園などの取組に感謝しつつ、今後もぜひ「地域の学校」としてさまざまな連携を図っていきたい。地方の学校や企業とのコラボをぜひ強固なものにしたい。「自由の中での自律」を授業や生活でぜひ展開し学びの主体、生きる主体となる学生を育成してほしい。また5年生まで存在するよさを生かし異学年での学びを工夫することも 将来社会で生きぬく力に結び付くと思われる。</p>